

きのう、はじめて



kinou hajimete shita

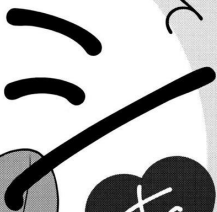
hayato
side

akiyama hayato × fuyumi jun
THE IDOLM@STER sideM fanbook

R18

成人向け

きのう、はじめて



kinou hajimete shita

hayato
side

…じゃあ、
また明日…
スタジオで

…うん

— 昨日、

コソコソ…

また…!

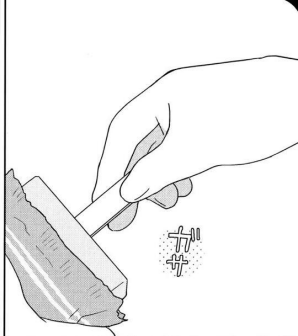
ジユンと
はじめて

シた…!



19

19









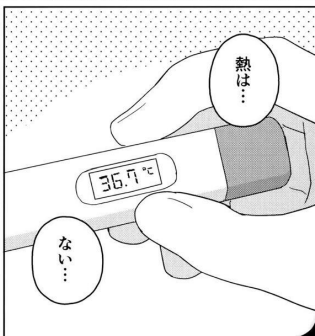


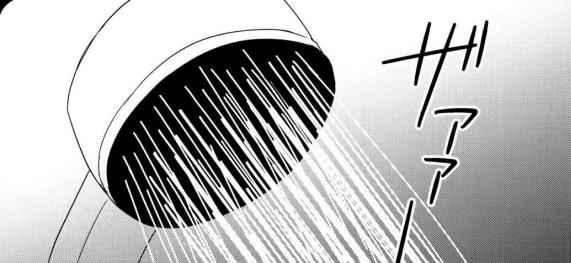


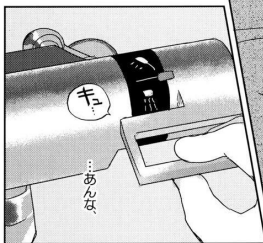
泣かないで
ください

ジュジュ

ジュジュ







いろいろ調べたのに
全然うまくできず
感じがなくて

続けていいのかも
わかんなくて…

ハヤト…

ギョ

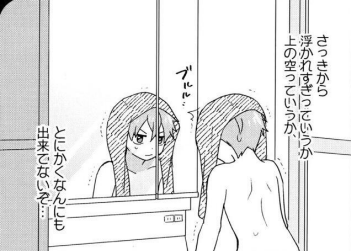
大丈夫
だから…

ギョ









とにかくなんにも
出来てないぞ...

さっきから
浮かれすぎていつか
上の空っていうか...



...いや
いやいや
いやいや

ジュンにもちゃんと
仕事の宿題やれって
言われたし！

明日だって
スタジオ練するのに
こんなじゃダメだ！



よし...

しっかり
するぞ！

グッ

!!





もしこれから何度もしたら
うまく出来るようになって

昨日みたいに
焦らなくなるのかなあ…



今度から家で会うとき
絶対…することを
意識しちゃうかな…

また来てくれるって
うなずいてくれたけど…
そそっという意味で…かな…



ジュンの方が
絶対怖いはずなのに
はげましてくれた
こととか

はじめて聞く声の
衝撃とか

苦しそうなのに、
手にきって
すがってくれたのが
うれしかったとか…



…なんか、
でも



昨日の気持ち

忘れたく
ないなあ…

今は昨日のこと
はっきり思い出せるけど…

そのうち思い出せなく
なるのかな…

忘れないで
いたいな…



スマホのメモに
残しとけば
いいんじゃない？

なくさないし…
いつでも
見返せるし…

いや…でも
万が一にも誰かに
見られたら…！

俺はこれだけでも
全然昨日のこと
思い出せる……!

これなら
人に見られても
なんのメモか
わかんないし



これからどんなに
慣れていっても

昨日の気持ちを
忘れないでいよう……

…こういうのって
アイドルになる前から
雑談で話したり
してたけど

よくわかんなくて
ふわっとしたこと
言ってたなあ…



なんか…
特定の^{ジュン}人^を思い浮かべて
答えるのも、

思い浮かべずに
それっぽく
答えるのも、

ファンとジュンに
失礼な気がするし…

これ…

ジュンはなんて
答えるんだろ

ジュンは…

俺のこと…

好きなんだ



—それから、
してみたといって
言ったこと、
ジュンはぜんぶ
許してくれた





なんかすごく
自分にだけ
都合がいい気がして

ぽす
本当は嫌だったなら
どうしようって
思ってた

ジュンが優しいから
受け入れてくれてる
だけで

でも



なんとなくジュンも
同じ気持ちなんだって
伝わってきて

昨日は…
今までで一番
通じ合った気がする

動く、

み…







ぽす
...

…ごめん、
一回はなれて
いい……う？

…？

服

じゃま…っ

か



ぽす

…ジュンも、

ぜんぶ…
ぬいで？





好きだよ



すずめ...

はす...

...あ

ジユンの反応が
伝わってへる

.....
繋がるのって
こんなに...

こんなに…

ヤバイ…
泣きそう

泣くと
…
泣くと
…

ボヤ…

じわ

終わりが
ない

ずっと
こうしたい…



この曲はいいよ...

こんな気持ちで作った曲
ハイジヨはもちろん
誰にも歌わせられないよ……!

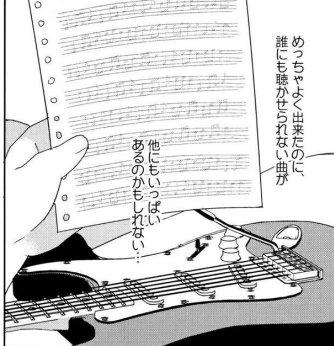
俺が自分で歌うにしても
こんなの誰にも
聴かせられないよ……!

詩とつすべきが
全ッ然わかん
ないし……っ!

……せっかく
できたのに

ス
ラ……

この流れも
めっちゃいい感じ
なのに……



めっちゃよく出来たのに、
誰にも聴かせられない曲が

他にもいっぱい
あるのかもしれない……



……
もしかしたら……
この曲みたいに



……シユンには
聴かせたいな

なんていう
かなあ

……いい曲って
言ってもらえたら
うれしいなあ……



世界には……
本八じが知らない
サイコーのラフニングが
たくさんあるのかも……



結局、朝から一日中
ずーっとこうだったな…



えーととりあえず
ジュンに見せるなら
きれいに書き直したいし

元々今日やる予定だった
インタビュウの回答も
作らないとだし



あとおなか
空いたし…

ていつか今
何時なんだろう？

兄貴帰って
きてるんじゃない？

ギョッ

つてなんか
部屋めっちゃ
散らかってるな…

とりあえず
スマホ…



集中してるうはい
メッセージ送っとく

俺寝るから晩ごはん
くらい時間に起こして

えーっし
全然気付かな
かった…

てかもう
こんな時間…

わ

兄貴から
来た…

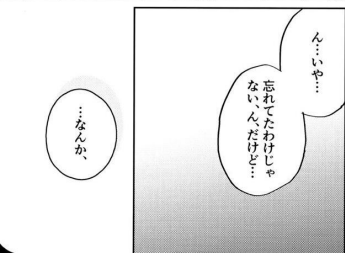




全然…
正直課題は
それ

あ〜

いや…



…なんか、

忘れてたわけじゃ
ないんだけど…

ん…いや…



あ

もしもし
ジュンっ

えっと…今
電話大丈夫
だった？



今日…

なんにも…
できなかったや…



あ、でも
今度聴いてほしい
曲あるかも…

いや、
そういうんじゃない
んだけど…

寄稿コメント 五月さんより

はじめに唾液さんにお声かけていただいたとき、率直に思ったのは「ほんとにいいんですか!?」でした(なんせ普段は逆を書いている人間なので……)

でもテーマがかわいくて、その時点で書く予定と教えていただいた話もかわいくて、だったら私これの冬美視点で書きたいです!という感じでお誘い乗らせていただいて、プロット段階で設定を擦り合わせたり、唾液さんのネームから台詞をこっそりお借りしたり、逆に私が書いた何気ない描写を拾っていただいている部分があったり

(たぶんそうだと思うのですが気のせいだったら恥ずかしいなこれ……) 寄稿というよりは合同誌みたいな、普段とは違う話の作り方が出来た気がして書いていてとても楽しかったです。

楽しすぎて最初にこれくらい書きますね、といったP数の倍近くになってしまったので、唾液さんのファンからすれば何事!?という感じかもしれないのですが、そこは何卒ご容赦いただけますと幸いです。

というかもともと私も唾液さんの書く俳句がめっちゃ好きで、過去に出されてた本のなかに「これ冬美の視点も読みたい、むしろ書きたい……」みたいなやつもあったので、今回唾液さんのプロットを元に冬美視点で書いていいよと言っていただき正直ちょっと念願叶った感じもあります。やったね。

唾液さんの俳句、基本的に、特に冬美のモノローグは少なめで、いつも表情で想像させる感じなので、その内心を全部文章にしまっちゃうのは野暮な感じもありますが、すこしでも楽しんで読んでもくださる方がいれば嬉しいなあと思います。なんせ書くのが楽しかったので。

改めまして、お誘いありがとうございます!



きのう、はじめてした

ババロアレロレロ/唾液
pixiv:29275048/twitter:@daeki2dara
gathapin0mukku@yahoo.co.jp

発行: 20210627

印刷: 株式会社ホーブツーワン様

表紙用紙: 新屋物語

表紙色: オレンジ・青4

本文用紙: コミックルンパ白

本文色: 茶4(1-40p)、紺(41-64p)

表紙デザイン: ゆずき様(@uiduki)

無断転載、複製、ネットオークションへの出品を禁じます。
不要になった際は一般の方の目に触れない方法で処分してください。



← 唾液の
感想フォーム

五月さんの
サイト →



71巻

あとがき

おつかれさまです。

この話自体は2019年8月にプロットを作っていたんですが、出すのにほぼ2年掛かっている…？当初諦めようかなと思うこともありましたが、ぶじ出せてよかったです。出てるよね？表紙のデザインを作ってくれたゆずきさん、寄稿してくれた五月さん、ありがとうございます…ふたりの協力がなければ完全に諦めていた。

ゆずきさんはインターネットで知り合って9年目くらいの友達です。Twitterでゆずきさんが「同人誌の表紙デザインやってみたい〜」と呟いてたところに即リプして、その割にそこからこちらの都合で1年半くらい待たせてデザインしてもらいました。シンプルめから華やかなものまでいろんなパターンのデザイン案出してもらったんですが、私が「なんか…二色刷りしたいわ…」みたいなことを急に言い出して、シンプルめな案を二色刷りにアレンジしてかわいいうデザインを作ってもらいました。こうやって書くと私はクソ人間ですね。忙しい中デザインを作ってくれてありがとう…。また一緒に狩りに行こうね。

五月さんは私が作品を拝読して「え…？この人の作品、良すぎ…？」と衝撃を受けてから一方的に尊敬かつネットストしている(すな)フォロワーさんです。なんか…作品を読んでいると、肺の裏側あたりを撫でられるような感覚に陥る。とても好きです。この本を描くにあたってふと、旬視点を入れる余地もあるんじゃないか…？と思い、それなら五月さんが書く旬視点が見たい！となり寄稿をお願いしようと思ったものの、単旬の初夜翌日を旬視点でって注文多すぎかな…と思い、1年くらい悩んだ末に「このふたりの初夜翌日シチュの本出したいんですけど…寄稿…してほしいです…」と依頼しました。そして単旬の旬視点で書きますと書いてもらえて、生きてると良いことあるんだなあと思いました。普段五月さんが書かれている作品でも、地の文で描かれている人物の心情が特に好きなんですが、今回の本の本のシチュとめっちゃ合っていて、旬の悶々とした心情がじっくり堪能できてめっちゃ良かったです。寄稿頼んで、よかった……………。あと今回、プロットやネームなどの途中経過を共有してちょこちょこ話を合わせたので自分が描いたネームの場面が小説に反映されてたりして、感動…した…。基本的に人が書いたものはその人んちのカブで、自分ちのカブとは別物と認識しているんですが、今回同じ1つのカブを共有しているんだ…みたいな不思議な感覚がありました。おもしろかったです。本当にありがとうございます…。また一緒に酒を飲んでください。

今回の本に多少関連する話として、モバエムのバレンタイン2021企画の話(ネタバレ)をするんですけど…単人が「作った曲を幼なじみに渡しながら」ってシチュで胸キュン動画を撮って、でも幼なじみは楽譜読めないから、歌うか歌詞だけでも読まないと伝わらない…みたいな場面があるんです。それを見た私は「ま、冬美は…読めるけど…(〆)☆」になった。このふたりが相手を想って作った曲を交換するとかもはやラブレターだと思うんですけど、楽譜を読んで脳内で曲を思い浮かべるときと、ギターとピアノで弾いたときで印象が変わりそう。お互い楽譜のコピーは取った上で、手書きの原本の方を相手に渡してほしいわ…。単旬の同人誌を出してから3年ほど経つけど、未だに描きたい話が溢れて出力が追いついていないのでもうちょっとがんばりたいですね。サイスタはじまったらますますやばそう。今のところ、単人⇒旬の本でシリアスっぽいやつとコメディっぽいやつを出したいのでまあ見てください…。肌に合いそうだったらまた読んでくださるとうれしいです。

2021.6.27 唯夜

きのう、はじめた



kinou
hajimete shita



jun
side

akiyama hayato × fuyumi jun
THE IDOLM@STER sideM fanbook

R18

成人向け